

令和3年度 第1回やまなしプラスチックスマート連絡協議会

【日時】

令和3年7月18日（日曜日） 13時30分～15時30分

【場所】

防災新館 304 会議室（甲府市丸の内1-6-1）

【内容】

14名の委員（オンライン出席を含む）が参加し、行政及び各団体におけるプラスチック対策の情報共有など、以下の点について意見を交わしました。

1. やまなしプラスチックスマート連絡協議会規約の改正

・改正の内容

①県の組織再編に伴う事務局の変更（第6条関係）

（改正前）山梨県森林環境部環境・エネルギー課

（改正後）山梨県環境・エネルギー部環境整備課

②構成団体の組織変更に伴う団体等の変更（別表 団体等）

（改正前）あしたの山梨を創る生活運動協会

（改正後）（一社）山梨県消費者市民社会推進協議会

・適用日

①県の組織再編に伴う事務局の変更

令和3年4月1日適用

②構成団体の組織変更に伴う団体等の変更

令和3年7月18日適用

2. 山梨県によるプラスチックごみ問題に対する事業説明

・令和2年度事業

①普及・啓発リーフレットの作成・配布（20,000枚）

②マイクロプラスチック河川調査（5地点）

③環境教材（漂着物のトランク・ミュージアム®）の製作

・令和3年度事業

①リユース食器等導入支援事業費補助金

②マイクロプラスチック河川調査（8地点）

③流域他県と連携した環境美化啓発イベント（静岡県海岸）

3. 協議会団体等の事業・成果報告

○認定 NPO 法人日本釣り環境保全連盟

- ・STOP!マイクロプラスチック 未来へつなぐ、水辺環境保全プロジェクト
「生き物と食の安全を守る」ことを目標に、令和3年3月に設立した。全都道府県に活動拠点を置くだけでなく、中国、韓国の釣り団体とも連携して活動している。釣りイベント開催時にごみ拾いを行う等の活動をしている。

・もみがら食器について

お米の外殻であるもみがらを用いた食器を開発している。もみがら食器は土に完全に埋めると90～180日で生分解が可能。もみがら食器を病院や学校給食、一般企業などへの普及を目指して研究・開発を行っている。

○山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト

・やまなしプラスチックごみ削減サミットについて

使い捨てプラスチックの使用の見直しや、国が推し進める代替えプラスチックの課題について考えることを目的に、令和3年3月にオンラインでサミットを開催した。

○山梨大学大学院総合研究部 金子栄廣 教授

「研究生による身近な環境中の散乱プラスチックごみに関する調査概要」

4. プラスチック資源循環促進法の概要説明（山梨県）

- ・法律の施行による私たちの暮らしの変化
- ・国の基本方針について
- ・国の動向について

5. プラスチック資源循環促進法への対応に向けて

○容器包装リサイクル法の概要（山梨県）

- ・容器包装リサイクル法とは
- ・山梨県の容器包装リサイクル法の実施状況

○容器包装リサイクル法の実状（一般社団法人山梨県一般廃棄物協会）

- ・リサイクルフローの種類
- ・分別・排出改善の取組例
- ・プラスチック資源循環促進法施行後の課題

【構成団体からのご意見】

＜プラスチックごみ問題について＞

- マイクロプラスチックの発生要因として、人工芝や、草が生えないように畑に敷かれるカーペット等が問題だと感じている。
- 河川のなかにはマイクロプラスチックは少ないとされているが、マイクロより小さいナノプラスチックがたくさん流れており、マイクロプラスチックからナノプラスチックも問題になりつつあるという共通認識をもつことが大切だと思う。

＜プラスチックごみ問題に対する取組について＞

- 『ごみが無駄にしない社会』に転換していると感じている。
- 子ども達へ気づきを起こさせる教育が必要である。
- ニューヨークの子どもたちが自発的にプラスチックごみ問題に取り組む映画を、多くの子ども達に見てもらえるような取組を実施したい。